

【 記載例 】

連絡先：098-123-4567

担当者〇〇〇

第4号様式（細則第4条第4号関係）

年間報告

令和〇〇年度 ~~麻薬小売業者~~ ~~麻薬管理者~~ 届出  
麻薬研究者

令和〇〇年〇〇月〇〇日

沖縄県知事 殿

「年間報告」の届出義務者は、麻薬研究者である。

「研究者」の個人の住所及び氏名を記載すること。

麻薬業務所の所在地及び名称 那覇市泉崎〇丁目〇番〇号〇〇研究所  
届出者の住所及び氏名 那覇市〇×〇5-5-1コーポ△△ 505号室 琉球 花子  
免許の種類及び免許の番号 麻薬研究者 第〇〇-〇〇〇号

※1 麻薬廃棄届により廃棄した数量及び事故のあった数量を備考欄に記載すること。  
途中指定薬物から麻薬に移行した薬物については、10/1時点で0g、譲受欄に移行時点でのg数を記載。備考欄に「〇年〇月〇日指定薬物から移行」と記載すること

~~第47条~~

麻薬及び向精神薬取締法 ~~第48条~~ の規定により、次のとおり届け出ます。

第49条

※2 「譲受数量」欄には、麻薬卸売業者から譲り受けた麻薬の数量を記載する。

	所有数量	譲受数量	譲渡 施用数量 使用	当年9月30日 現在の 所有数量	備考
(※1) MSJ㉿錠 10mg	150錠	200錠	225錠	110錠	廃棄 10錠 (R00年〇月〇日届提出) 事故 5錠 (R00年〇月〇日届提出)
アヘン末	20 g	0 g	10 g	10.5 g	秤量誤差調整 (R00年〇月〇日 +0.5g)
(※2) 塩酸㉿㉿原末	5 g	5g	6g (※)	4 g	(※) 原末1gから 10倍散10gを製剤
塩酸㉿㉿10倍散 (自家製剤)	4.5 g	10g (※)	12.5 g	2g	(※) 原末1gから 10倍散10gを製剤
(※3) ケタ㉿㉿筋注用500mg	10.3 mL	20 mL	15,6 mL	14,7 mL	

※3 ケタミンなどのバイアル製剤は分注して使用することが多いことから、バイアルの本数単位ではなく、mL単位に換算して記載すること。（麻薬帳簿における管理もmL単位で管理すること。）